

中国地方知事会広域連携部会の取組状況

No	項目名	担当県
1	広域防災部会	広島県
2	地域医療確保対策部会	広島県
3	サイクリング部会	広島県
4	有害鳥獣対策部会	鳥取県
5	中山間地域振興部会	島根県
6	スギ花粉症対策部会	岡山県
7	地域産業振興部会	山口県

平成29年11月24日

広域防災部会

連携テーマ	これまでの取り組み	今後の取り組み
大規模広域的災害発生時の連携と調整等WG	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等を踏まえ、支援・受援マニュアルの修正案を作成 ・広域物資物流体制について各県の物流体制の現況を確認 ・関西広域連合との広域応援協定を締結(6/5) ・7月の島根県西部の豪雨に際し、鳥取県が島根県へ連絡員を派遣し、情報収集及び共有を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等を踏まえ、支援・受援マニュアルを修正 ・各県の物流体制の現況を踏まえ、広域物資物流体制について引き続き検討 ・関西広域連合との協定に基づく実施要領等を年度内に作成
防災訓練・研修WG	<ul style="list-style-type: none"> ・中国5県共同防災訓練の実施要項の検討(6/21) ・関西広域連合との広域応援協定に基づく図上訓練を実施し、関西広域連合が被災したときの支援要請の手順を確認(9/22) ・各県防災訓練等への相互参加、参観を随時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国5県合同図上訓練の開催(H30.1.23予定) ・関西広域連合との訓練の検証 ・各県防災訓練等への相互参加、参観を継続して実施(随時) ・災害対処事例に関する意見交換会の開催
原子力災害を想定した連携と調整等WG	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有体制の継続、情報共有の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有体制及び広域避難に関する担当者会議の開催 ・国、関係県による避難受入手順の整備や原子力防災訓練結果等を踏まえた広域避難体制の実効性向上

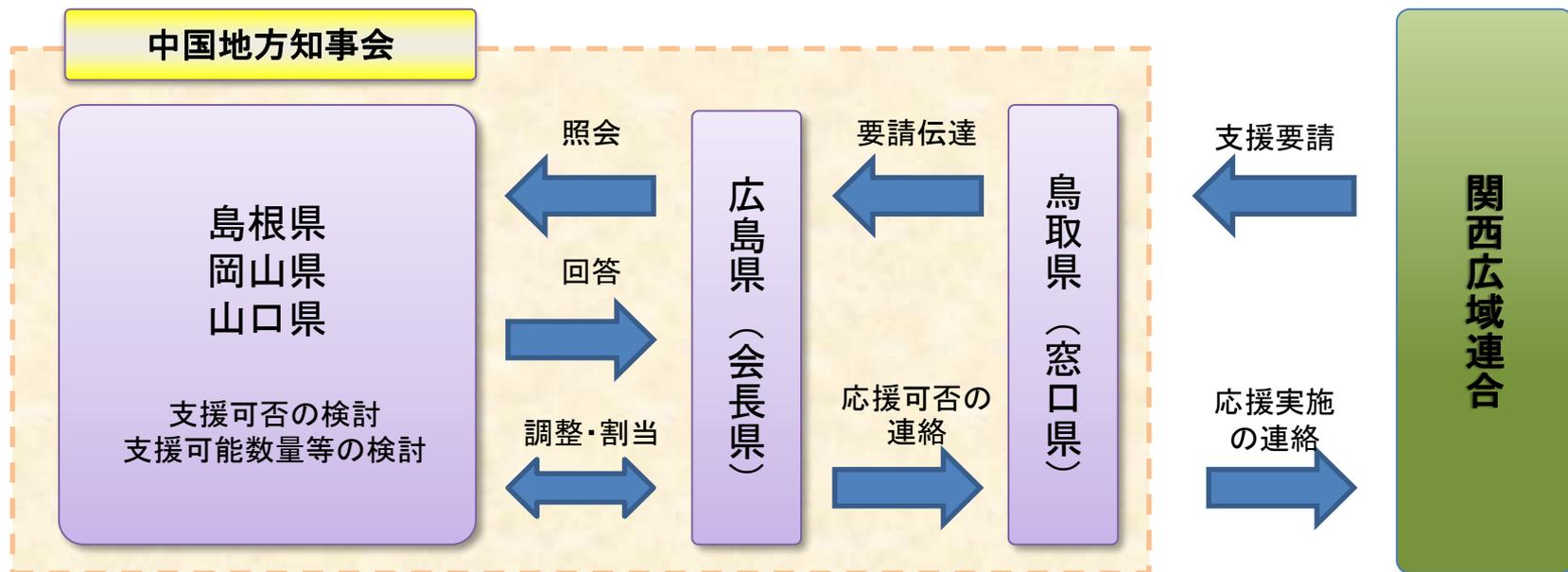
関西広域連合との災害応援協定に基づく図上訓練について

1. 訓練の概要

南海トラフ地震により関西広域連合が被災し、中国地方知事会に対して支援要請があったという想定に基づき、要請手順や支援県の調整・割当の連絡等について電話やFAXを用いた訓練を実施した。

2. 訓練実施日 平成29年9月22日(金)

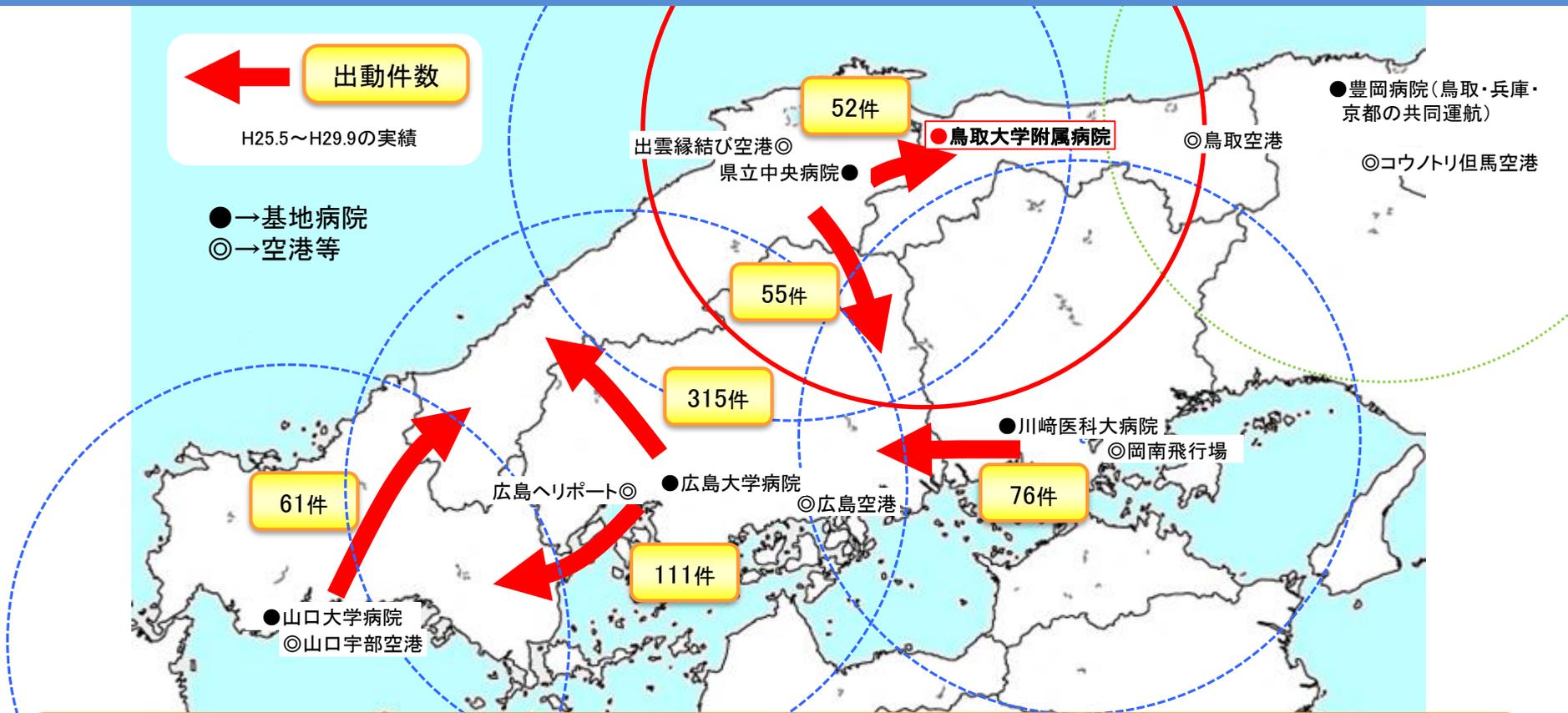
3. 各県の役割



4. 今後の取り組み

今回の訓練の検証をとおして、関西広域連合との広域支援の実効性を高めていく。
(関西広域連合との協定に基づく実施要領等に反映)

地域医療確保対策部会



■これまでの取組

- ・平成25年1月23日 中国五県ドクターヘリ広域連携に係る基本協定締結
- ・平成25年5月 1日～6月17日 基本協定に基づく運航を順次開始
- ・平成29年6月5日 中国5県、関西広域連合等ドクターヘリ広域連携に係る基本協定の締結

■運航実績

- ・平成29年9月までの広域連携による運航実績は合計 **670件**、ドクターヘリの効率的・効果的な運航を実施

■今後の取組

- ・平成29年12月 広域連携に係る費用負担等の方法及び出動対象地域を規定した実施細目等を締結
- ・平成30年3月 **鳥取県（関西広域連合）ドクターヘリ運航開始**〔基地病院：鳥取大学医学部附属病院〕

サイクリング部会

《目指す姿》 中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなっていること。

《目指す姿の実現に向けた取組》

- 1 広域推奨ルートを選定
- 2 サイクリストの受入環境の整備
- 3 情報発信に係る連携

1 広域推奨ルート

① やまなみ・しまなみルート(仮称)	大山～中海～やまなみ街道～しまなみ海道
② 日本海・瀬戸内ルート(仮称)	鳥取県中部～岡山県鏡野～香川県
③ 日本海沿岸ルート(仮称)	鳥取砂丘～大山～江津～益田～津和野～萩～下関

※上記以外にも各県をまたぐルートについて調整中

2 受入環境の整備

(1) JR西日本への要望活動

平成29年10月～11月に広島, 岡山, 米子の各支社長に要望を実施。状況は下記のとおり。

① 主要駅へのサイクルピットの確保	設置場所, 市町等設置主体との調整が済み次第設置する。
② 主要駅間の輸行袋の貸与	観光案内所での貸与又は, 駅売店等での販売に向けて調整している。
③ 臨時サイクルトレインの運行	サイクリングしまなみ等のイベント時の運行に向けて調整している。
④ 山間部路線でのサイクルトレイン試行	試行区間・期間を今後調整する。

サイクリング部会

(2) 同一水準のサービスが受けられる環境づくり及びインバウンド対策

①サイクリスト用の休憩場所	各県で取組を進めている。 未整備の地点については、駐輪スペース(サイクルスタンド)、トイレ、給水を最低限必要な機能として整備を進める。 ※岡山県において協力店募集(9/1~9/30)
②トラブルに対するレスキュー	出張修理サービス等のレスキューサービス地域を拡充する。 具体的には、最低限必要なレスキューサービスとして、緊急時に自転車搭載可能なタクシーを呼ぶことができる等の環境整備を進める。
③広域推奨ルートของチラシ・マップ作成	海外等へのセールス用のマップ, チラシ等を作成する。
④インバウンド対策	せとうちDMO, 山陰インバウンド機構と連携して海外セールスを実施する。

3 情報発信に係る連携

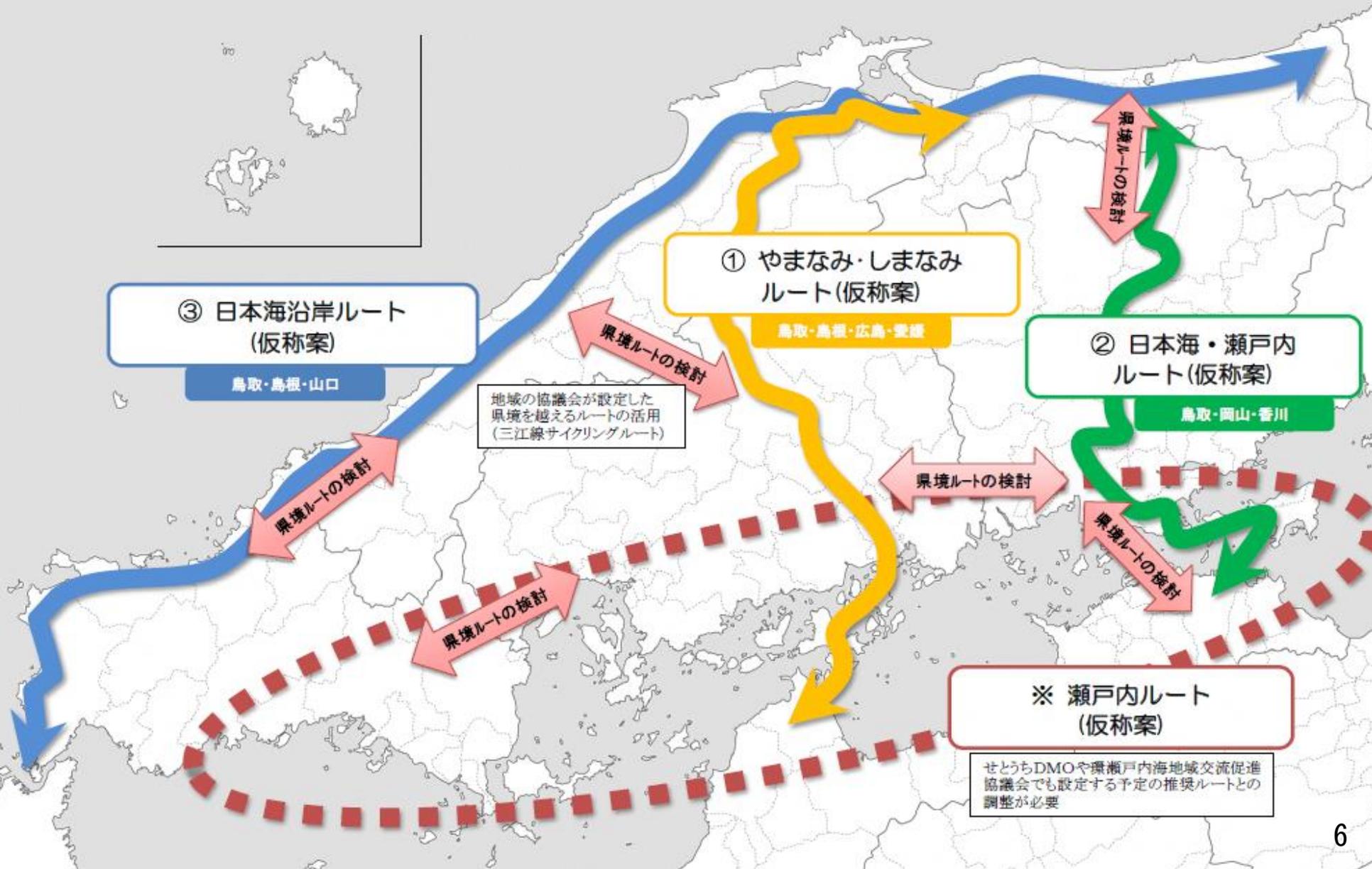
【実績】

- 2017.8.19, 20 シマノ鈴鹿ロードレースにおいて共同PR(広島県・山口県・愛媛県)
- 2017.9.9 岩国エキスポ2017において共同PR(島根県・広島県・山口県・愛媛県)
- 2017.9.16 秋吉台ロードレースにおいて共同PR(広島県・山口県・せとうちDMO)

【予定】

- 2017.12 広島市内で行われる自転車関連イベントへの共同出展(中国5県)
- 2018.10.28 サイクリングしまなみ2018への共同出展(中四国9県)

■ 中国地方知事会で推奨する広域サイクリングルート案



有害鳥獣対策部会

連携テーマ

ニホンジカ、カワウに係る広域連携体制の構築 〔取組の方向〕

- ① 生息状況の情報共有
- ② 捕獲、被害対策の取組状況の情報交換
- ③ 広域的な取組の検討

H29年度取組内容

《ニホンジカ検討会》

特に生息数の多い鳥取県・岡山県の県境両側で、10月の捕獲強化月間中に集中的な捕獲を実施

連携捕獲頭数：鳥取県 732頭(実施市町村の生息頭数 42,193頭)、岡山県 806頭(実施市町村の生息頭数 72,416頭)

・実施時期 10月の捕獲強化月間の1ヶ月間

※今年から更なる連携として特に集中して捕獲を行う強化週間を設定(10/14(土)から21日(土))

・実施区域 鳥取県：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、倉吉市、三朝町、琴浦町、大山町、伯耆町、日南町、日野町、江府町の奥山

岡山県：西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村、新見市、備前市の全域

・連携手法 越境はせず県境の両側でそれぞれ実施(捕獲圧を高める)

ニホンジカ検討会としての連携取組案を検討

- ・5県全体の分布状況図を毎年度作成し拡大縮小動向を確認
- ・10月の捕獲強化月間実施県を鳥取県・岡山県に山口県を加えて実施
- ・県境域における鳥取県・岡山県・兵庫県の合同捕獲を継続実施



(参考) 連携体制強化のため、今年度中に鳥取・岡山・兵庫の3県で猟友会・市町村・県が参画した研修会を開催 7

有害鳥獣対策部会

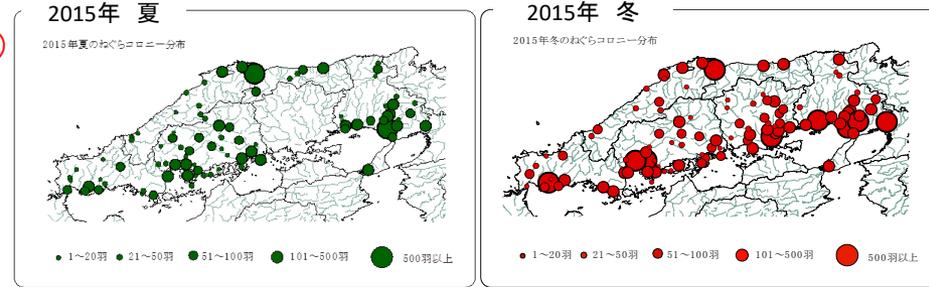
《カワウ検討会》

有害鳥獣対策部会(カワウ検討会)としての連携の取組案を検討

①広域的な管理を推進するためのモニタリング時期・調査方法の統一化(平成30年度から)

(参考)ねぐら・コロニー等の分布状況

- ・中国地方の生息状況データの精度向上を図る。
- ・ねぐら入り調査を統一指標とし、季節変動が大きい夏期(7月頃)及び冬期(12月頃)の生息個体数調査は必須とする。
- ・その他、県内に存在するねぐら・コロニーの数、コロニーでの営巣数も確認。



②鳥取県・島根県・環境省でモデル的取組を実施(平成30年度開始予定)

- ・鳥取県、島根県に跨がる中海(萱島コロニー)で、両県と環境省が集中的な捕獲とモニタリングを実施し、効果的な手法を検証。その結果を各県で共有。

鳥根県 鳥取県
漁協 環境省 市町
保護団体
連携して対策を実施



《(参考)ツキノワグマ》 ※有害鳥獣対策部会としてフォローアップ

5県の情報共有の場として「中国5県ツキノワグマ対策連絡会議」を設置(10月)。

【5県連携の取組】

- ①5県共通フォーマットで市町村単位での目撃・捕獲情報の共有と発信(平成29年11月から)
 - ・各県及び市町村において、県を跨いだ隣接市町村の状況も含め情報共有(市町村別・月別)
- ②5県で目撃件数の増加など一定の基準による警報システムの導入を検討(平成30年度から)

今後の取組

中国5県全体で連携事業の結果を共有し、効果を検証するとともに、各県独自の取組も共有しながら、今後の連携策を検討していく。

中山間地域振興部会

平成29年度事業

1 共同研究

(1) 連携テーマ

若者世代に選ばれる中山間地域の創り方 [提案県：岡山県]

(2) 目的

若者世代が多く居住選択している地域に着目し、次世代が持続的に住み続けられる地域の条件を整理し、地域と行政が取り組むべき促進策等を提案する。

(3) 研究期間

平成29～30年度（平成29年4月～平成30年6月）

(4) 進捗状況

①統計分析

対象：中国5県全市町村
国勢調査を用いて、市町村・地域における若者世代の増減傾向を把握

②市町村アンケート調査

対象：中国5県全市町村
中国5県全市町村の移住定住に関する状況（定住施策、子育て施策など）アンケート調査により把握

③市町村ヒアリング調査

対象：各県3市町村（※）
統計分析、アンケート調査などから調査市町村を決定し、それぞれの市町村における詳細な条件をヒアリング調査

④地区住民等調査

対象：各県1市町村（※）
移住の背景と決め手、暮らし続ける上での課題などのアンケート調査・ヒアリング調査（移住者・キーパーソン）

（※）鳥取県智頭町・八頭町・大山町、島根県大田市・奥出雲町・邑南町、岡山県高梁市・美作市・奈義町、広島県三次市・安芸太田町・北広島町、山口県周南市・周防大島町・阿武町

(5) 成果の普及

平成30年6月頃に成果報告会を開催予定（場所は未定）
成果報告書の作成・配布

2 共同事業

(1) 中国5県地域おこし協力隊研修会 平成29年9月9日（土）

島根県松江市、参加者約100名、
内容：現地研修（松江市玉造温泉）、講演等



中山間地域振興部会

平成29年度事業

(2) 中国5県リレーフォーラム (全体テーマ: さとやまの未来をつくる)

	山口県	鳥取県	島根県	広島県	岡山県
開催日	H29.2.21(火)	H29.8.9(水)	H29.9.8(金)	H29.10.15(日)	H30.1.31(水)
キーワード	小さな拠点	地域おこし協力隊	中山間地域での 起業・創業	里山資本主義	10年先の 中山間地域の姿
参加人数	250人	150人	119人	206人	—

(鳥取県)



(島根県)



(広島県)



(山口県)



平成30年度事業計画

1 共同研究

(1) 連携テーマ

中間支援組織と協働した地域づくり支援手法 [提案県: 島根県]

(2) 目的

中国5県内外の地域づくり支援に携わる民間の地域支援組織(中間支援組織)の実態を把握し、中間支援組織と連携した地域づくり支援手法や中間支援組織の運営手法、中間支援組織育成に必要な条件整備を提案する。

2 共同事業

中国地方地域おこし協力隊研修会等 (鳥取県、場所・時期は未定)

スギ花粉症対策部会

■連携テーマ

- ①中国地方連絡会議の開催
- ②苗木の相互融通と植替えの促進
- ③普及啓発活動



■テーマ毎の進捗状況

連携テーマ	目標	平成26年度～平成28年度実績	平成29年度見込
① 少花粉スギ普及推進中国 地方連絡会議の開催	・連絡会議の開催(年1～2回)	課題の共有 苗木の安定供給体制の早期確立 平成26年度 2回 平成27年度 2回 平成28年度 3回	課題の共有 ・苗木の安定供給体制の早期確立 ・生産技術の情報交換 第8回 (H29. 5.22) 第9回 (H29.10.24)
② 少花粉スギ苗木の相互融通 と植替えの促進	・植替えに使用する割合 平成34年度以降 90%以上 (少花粉苗750,000本 /全体833,000本)	・苗木の相互融通 累計1,500本 岡山県 → 広島県、島根県 各500本 山口県 → 広島県 500本 [参考実績] ・出荷本数 累計24,410本 ・植替え面積 累計9.53ha	・植替えに使用する割合 7% (少花粉苗40,400本 /全体595,740本)
③ 少花粉スギ等に関する普及 啓発活動	・モデル林設置 25箇所 ・リーフレットの作成、配布	・モデル林設置 累計20箇所 ・リーフレットの作成、配布 累計5,500枚	・モデル林設置5箇所 (各県1箇所設置)

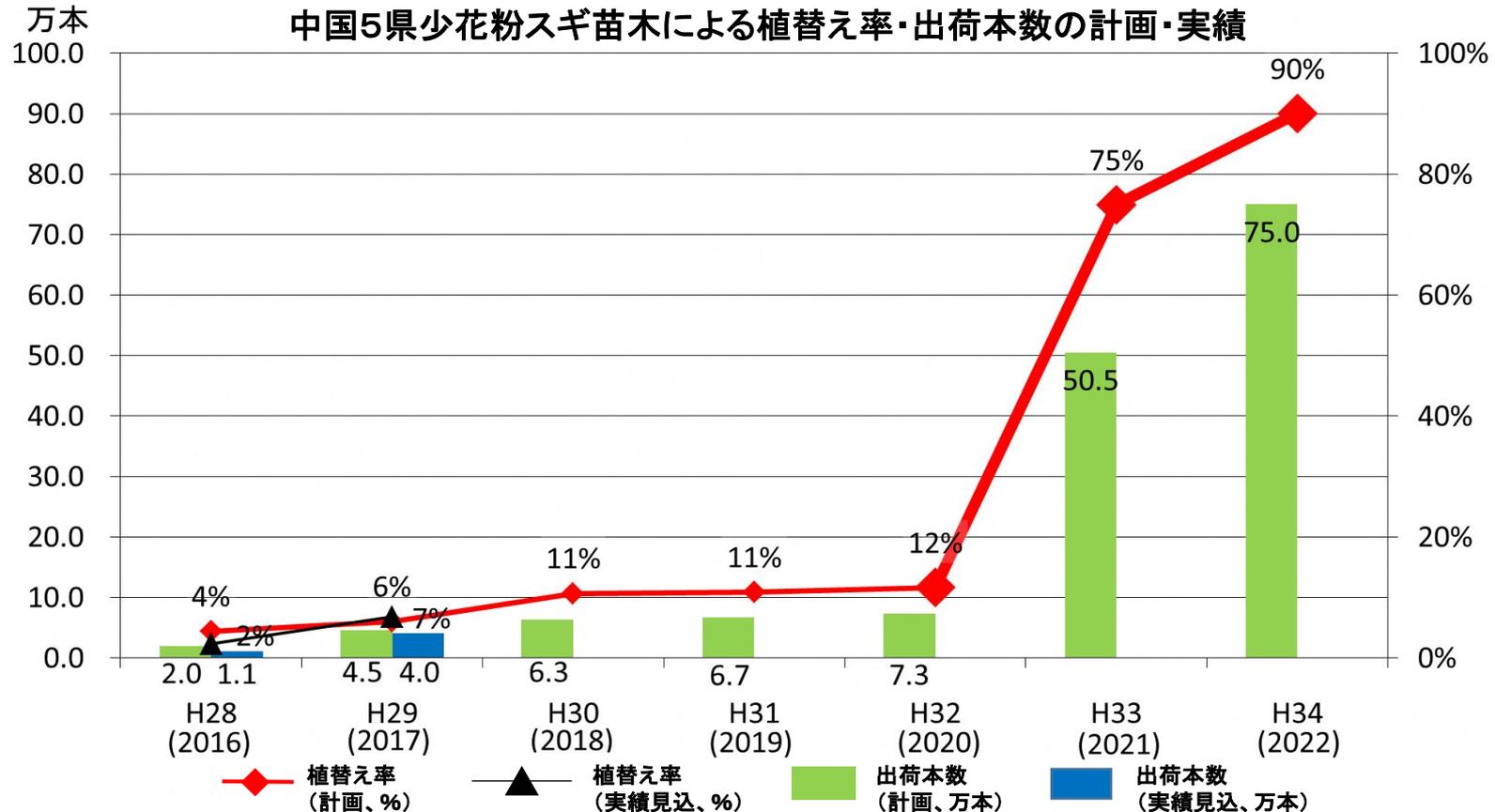
スギ花粉症対策部会

■ 植替えの促進(平成29年度からの新たな目標)

中国5県トータルで植替えに使用する少花粉スギ苗木の割合を平成34年度以降90%以上とする。

[参考数値]平成34年度の少花粉スギ苗木の出荷本数 750,000本
※ただし、出荷本数は今後の需給動向により随時見直す。

■ 中国5県トータルの計画・実績



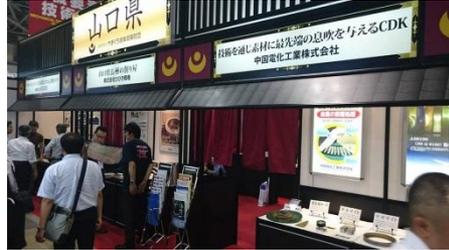
地域産業振興部会

取組状況

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

○展示会での連携

- ・機械要素技術展 出展企業による合同交流会
(H29. 6. 21 東京)



- ・メタレックス2017への共同(鳥取・島根)出展
(H29. 11. 22~25 バンコク)

○商談会の共同開催

- ・中国ブロック合同商談会
(H30. 1. 17~18 岡山 幹事県:岡山)
- ・山陰・タイ・ビジネスマッチングの共同(鳥取県・島根県)開催
(H29. 10. 3 大阪)

○各県の商談会の相互参加

- ・中京圏広域取引商談会
(H29. 11. 10: 広島主催)
- ・中四国地域環境産業商談会 展示会
(H29. 11. 28: 岡山主催)



(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

○研究会・研修会等の相互参加

- ・カーテクノロジー革新研究会講演会(H29.9.4ほか2回 広島主催)
- ・おかも次世代関連技術研究会(H29.9.25ほか3回 岡山主催)
- ・BCP(事業継続計画)シンポジウム(H29.10.26 鳥取主催)
- ・やまぐち医療関連成長戦略推進協議会シンポジウム
(H29.10.27 山口主催)
- ・航空機産業ビジネスセミナー(H29.12.19 島根主催)

(3) 公設試験研究機関の連携強化

○人材交流

- ・ダイバーシティに関する懇談会(女性研究者対象)
(H29. 8. 8香川)
- ・公設試験研究機関研究者合同研修会
(H30. 1. 22~1. 23香川)
※両会とも、中国・四国地域合同開催

○共同研究

- ・味覚評価研究会(開催時期: 調整中 幹事県: 広島)

○連携会議

- ・公設研・産総研連携推進企画会議
(H29. 8. 30~31: 佐賀・福岡、H29. 10. 31~11. 1: 香川)

(4) 海外事務所の共同利用

- 海外事務所の共同利用(試行)に関する実施要領に基づく実施状況調査(H29. 8)

新たな目標や課題

(1) ビジネスマッチング・商談会の共同実施・連携・相互参加

➡ 中国ブロック合同商談会や展示会出展企業交流会の継続開催

単独実施の商談会や展示会の情報交換促進

(2) 研究会・研修会の共同実施・相互参加

➡ 相互参加可能な研究会等の情報交換促進

(3) 公設試験研究機関の連携強化

➡ 公設試験研究機関の人材交流

公設試験研究機関連携による共同研究
・「味覚評価研究会」の研究結果とりまとめ
→味覚評価の技術力向上に向け、共通の試料として清酒を用いて研究を実施中
今年度末に研究結果を取りまとめる予定

(4) 海外事務所の共同利用

➡ より需要が高く、多くの利用が見込まれる共同利用対象サービスの有無について整理の上、本格実施の是非について検討

➡ 共同利用が可能な該当国において、複数県が共同で展示会事業等に取り組むことにより、該当海外事務所を活用することの可能性の検討

